

# SCAP(Stress Check & Action Program)

医療法人共助会 鹿児島メンタルヘルス研究所 ハート・ピース

<https://heartpeace.jp/>

## ストレスチェックのその先へ。結果が対策となる。行動するメンタルヘルス支援

提供可能エリア(可能エリアが青塗)			
北海道	東北	関東	甲信越
北陸	東海	近畿	中国
四国	九州	沖縄	海外

提供可能法人規模 (◎:実績あり、○:提供可)			
50人未済	1,000人未済	10,000人未済	10,000人以上
◎	◎	◎	-

### サービスの目的・期待される効果

【凡例】◎:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価

基盤整備	法制度対応	○
	制度・施策体系の整理	○
	人事・産業保健業務の効率化・負担減	-
	組織状況の把握	○
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上	-
	相談窓口の利用率・認知率向上	○
	プログラムへの参加率・利用率向上	-
	不調の早期発見・対応	○
	ヘルスリテラシー・意識向上	○
	仕事のストレス要因低減	○
	心理的安全性・上司のサポート力向上	○
周囲のサポート力向上	○	
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善	-
	健康状態・心理指標改善	○
	アブゼンティーズム改善	-
	プレゼンティーズム改善	-
	ワーク・エンゲージメント向上	-
	従業員エンゲージメント向上	-
	労務指標改善(離職率、残業時間等)	-

### サービスの概要・特徴

メンタルヘルス対策は、今や“リスクマネジメント”を越えて、“組織戦略”へ  
 SCAP (Stress Check & Action Program) は、メンタルヘルス対策を「点」から「循環」へ変える、実効性のあるソリューションです。『ストレスチェックしているが、高ストレス者が減らない、医師面接指導の申出はないが、休職者は減らない、集団分析結果の活かし方が分からない』等の課題を感じている事業所様へ推奨いたします。制度対応にとどまらず、ストレスチェックの結果を「測る」だけでは終わらせず、ストレスチェックの結果を事業所様の行動資源へと転換し、「働きやすさ」と「生産性」の両立を支援するトータルパッケージです。従業員個人には、専門的支援と、組織支援には集団分析に基づく職場環境改善のサイクルを一体として実行します。管理職の意識変容や、高リスク層の予防支援にも対応することで、離職・休職などの経営リスクにも直結した解決策を提案いたします。

概要 (1) ストレスチェック実施、(2) 個人結果を基に個人支援、(3) 集団分析レポートを基に管理職等支援、(4) 集団分析レポートを基に職場環境改善支援の構成です。

### 導入企業の評価

【企業名】非公開 【業種】卸業 【拠点数/従業員数】4事業所/100名 【評価者】代表取締役/サービス参加者  
 【導入前の課題】業績が良くなるにつれて、人間関係や意思疎通の問題が出て、仕事を受注することに上手いかな  
 いことや、トラブルが増加(代表取締役) 【導入期間】2017年～2020年 【導入内容】ストレスチェック、管理職研  
 修、相談窓口設置、全社員研修、研修評価レポート報告、管理職面談と面談報告書、職場環境改善ワーク【導  
 入成果】健康リスク各指標改善。セルフケア研修は全社員対象。管理職面談、研修対象は全管理職、職場環境  
 改善ワークは4事業所ごと【ユーザー評価】「管理職面談の評価」『普段は言えない生の声が経営者に伝わる機会  
 (管理職)』『「管理職研修アンケート評価」『他管理職と問題点を共有できた』『研修の満足度81%』、「職場  
 環境改善ワークの評価」『自分達で改善できるという自信になった90%』『総合評価満足度70%』。代表取締役の  
 評価『今回の実施プログラムや、プログラムの評価のフィードバックを反映した会社としての人事労務等対策を行った事  
 などから、人間関係、意思疎通、社内連携などの点で改善した』

# SCAP(Stress Check & Action Program)

医療法人共助会 鹿児島メンタルヘルス研究所 ハート・ピース

<https://heartpeace.jp/>

## 理論的裏付け

### 採用している理論の概要

なし

## 実証評価

### 学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

### エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの  
準実験的研究

コホート研究

横断研究または症例  
対照研究

### 実証評価の結果概要

なし